

科目名	応用演技Ⅰ							年度	2025
英語科目名	Advanced ActingⅠ							学期	前期
学科・学年	声優・演劇科 2年次	必／選	選	時間数	60	単位数	2	種別※	実技
担当教員	オーハシ ヨースケ		教員の実務経験		有	実務経験の職種		俳優・演出・演劇教育家	
【科目の目的】 シアターゲームやインプロを繰り返し行うことで、表現者として必要な身体をつくる									
【科目の概要】 インボディメント・エクササイズ ～身体性を深めるカラダ作り～ インボディメント(EMBODIMENT)の視点、すなわち心とカラダを一つに捉える視点からドラマする力、演劇性を深かめる身体を練り上げるカラダ作りをする。									
【到達目標】 相手を受け取る、言葉やイメージを受け取とれるカラダの感受能力をプロとしての俳優・声優、身体表現者の域に高める。 想いをリアルに身体で表現できる、象徴的な身体表現ができ声と動きとキャラクターを一体的に表現できる、ドラマを創る。 プロとしてのカラダのしなやかさと強度を身を高める									
【授業の注意点】 フロアシューズなど上履き、ジャージ等体操着を着用。アリーナを他学科と共同使用なので使用上のルールを守る。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1				
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力				
到達目標 A	積極的にチャレンジ することができる		チャレンジできる		チャレンジすること が苦手である				
到達目標 B	様々なアイデアを 想像することができ る		アイデアを想像で きる		想像するのが苦手で ある				
到達目標 C	状況に合わせて自由 に身体を動かすこと ができる		楽しく身体を動かす ことができる		身体を動かすことが 苦手である				
到達目標 D	柔軟に受け入れること ができる		受け入れることがで きる		受け入れることが苦 手である				
到達目標 E									

【教科書】							
レジュメ・資料は必要に応じて配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。							
【参考資料】							
【成績の評価方法・評価基準】							
小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。							
科目名		応用演技Ⅰ				年度	2025
英語表記		Advanced ActingⅠ				学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	重心	自分の重心を知る		グループ課題	グループでフィジカルシアター（滝を表現）		
2	重力と相手	感受する・ゆだねる		グループ課題	グループでフィジカルシアター（風を表現）		
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							

12							
13							
14							
15							
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							